

(本件に関する照会先)

日本銀行徳島事務所 088-622-3126

2022年3月10日

日本銀行高松支店

徳島事務所

徳島県金融経済概況

1. 概況

- 徳島県内の景気は、基調としては持ち直しているものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大によって、足もと弱含んでいる。

すなわち、設備投資は増加している。個人消費は、基調としては持ち直しているものの、感染症再拡大の影響等からサービス消費を中心に、足もと弱含んでいる。住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は弱めの動きとなっている。こうした中、企業の生産は増勢が鈍化している。雇用・所得情勢をみると、労働需給は弱い動きとなっている一方、雇用者所得は持ち直しの動きがみられる。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、増加している。

12月短観における設備投資（全産業）をみると、2021年度は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、基調としては持ち直しているものの、感染症再拡大の影響等からサービス消費を中心に、足もと弱含んでいる。

大型小売店の売上は、持ち直しの動きが一服している。

乗用車販売は、持ち直しの動きが一服している。

家電販売は、底堅く推移している。

主要観光地の入込客数（21/11～22/1月）は、持ち直しの動きが続いたあと、減少に転じた。

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

公共投資は、弱めの動きとなっている。

- 企業の生産は、増勢が鈍化している。

はん用・生産用機械は、増加している。化学は、緩やかに増加している。パルプ・紙・紙加工品は、持ち直しの動きがみられる。電気機械、金属製品は、横ばい圏内の動きとなっている。食料品は、振れを伴いつつも、横ばい圏内の動きとなっている。輸送機械は、弱めの動きとなっている。

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給は弱い動きとなっている一方、雇用者所得は持ち直しの動きがみられる。

- 消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、0%台前半のプラスとなっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（1月）は、前月に比べ前年比プラス幅が幾分縮小した。

貸出約定平均金利（1月）は、前月比低下した。

- 預金（1月）は、前月に比べ前年比プラス幅が幾分縮小した。

- 倒産および信用保証協会の代位弁済は、低水準となっている。

以 上